

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議のなかで、施設の現状等を伝え、利用者家族・地域の方からの行政への提案等があるが、ホームとの意見交換だけで終わってしまっている。	出た意見を無駄にしない。	出来ること出来ないことを明確にした上で、行政にも働き掛け可能な限り改善策を文書で報告する。	12ヶ月
1	10	○運営に関する利用者・家族等意見の反映 会議等に来ていただいている家族の意見や要望はある程度把握しているが、それ以外の方々の意見を知る努力をしていない。	定期的にアンケートを実施し、もっと広く・自由に意見をもらえる機会をつくる。	9月にむけて、職員間で内容を検討しアンケートを実施する。	12ヶ月
3	52	○居心地のよい共用空間づくり 1階は採光がとれず、どうしても暗い印象がある。	設備環境上、どうにもならないとせず、どうすれば少しでも明るくなるか考え実施する。	ハード面以外での採光の摂り方を検討し、実施する。(電球の交換・カーテンを明るい色に変える等)	12ヶ月
2	54	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室で過ごすより、ホールで過ごしてほしいとの家族の要望もあり、持ち込みが少ない利用者がある。しかし、本人はどうなのだろうと考えることを忘れがちになっている。	夜間だけ過ごす等の場合でも、居室が心地よい空間となるように工夫する。	利用者本人と居室担当者がいっしょに考え、気持ちが暖かくなるようなお部屋をつくる。(居室担当者の顔写真を居室に貼り、さらにコミュニケーションを深める)	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。